

平成 29 年度「三重県の食に関する取組について」e-モニターアンケート実施報告書

「三重県の食に関する取組について」のアンケートの実施結果を、下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきました e-モニターの皆様には厚くお礼を申し上げます。
結果につきましては、今後の取組に活用させていただきます。

アンケート概要

- 1 実施期間 平成 29 年 11 月 2 日（木）から 11 月 19 日（日）まで
- 2 対象者数 1,165 人
- 3 回答数 793 人
- 4 回答率 68.1 %
- 5 回答者属性

【性別】

	男性	女性
回答者数	388 人	405 人
構成比	48.9%	51.1%

【年齢階層別】

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代
回答者数	2 人	55 人	163 人	221 人
構成比	0.2%	6.9%	20.6%	27.9%
	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	
回答者数	171 人	141 人	40 人	
構成比	21.6%	17.8%	5.0%	

【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	376 人	217 人	95 人	77 人	28 人
構成比	47.4%	27.4%	12.0%	9.7%	3.5%

北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢：津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

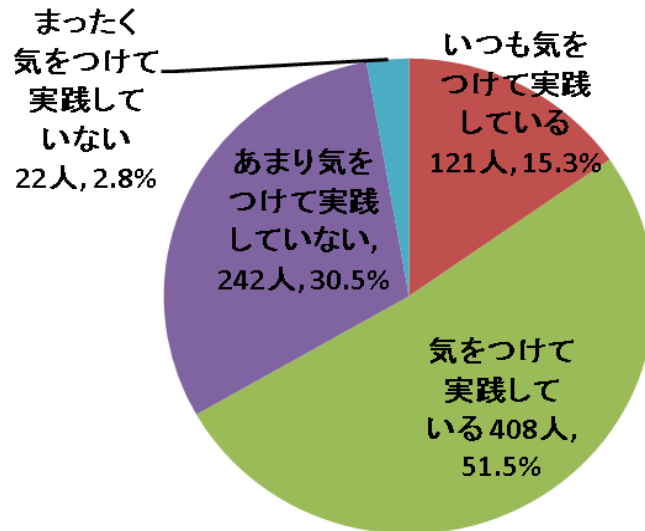
伊賀：名張市、伊賀市

東紀州：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

アンケート結果

Q1 健康を意識した食生活の実践について

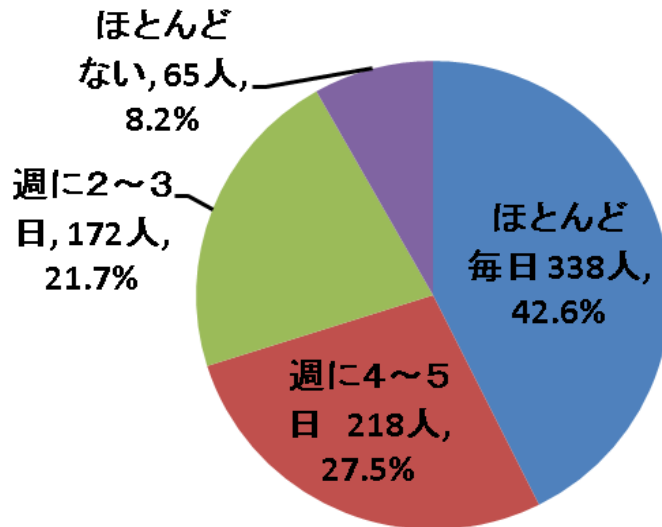
あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



健康を意識した食生活を実践しているかについて聞いた結果、「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と答えた方が529人（66.7%）、「あまり気をつけて実践していない」「まったく気をつけて実践していない」と答えた方は264人（33.3%）でした。

Q2 バランスよく食べることについて

あなたは、主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）、副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



バランスよく食事するかどうかについて聞いた結果、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのが「ほとんど毎日」と回答された方が、338人(42.6%)、「週に4~5日」と回答された方が218人(27.5%)で、週の半分以上の日でバランスよく食事できているのは556人(70.1%)と全体の7割程度を占めていました。H28年度のe-モニターアンケートでは70.4%であり、ほぼ前年度と変わりませんでした。

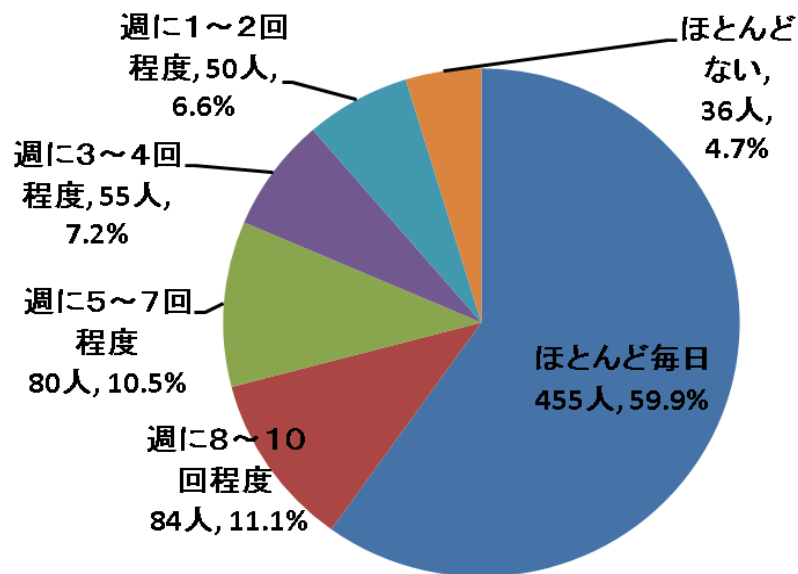
Q3 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聞きします。

あなたは、家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※家族数は問いません。

※朝食及び夕食の場合でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

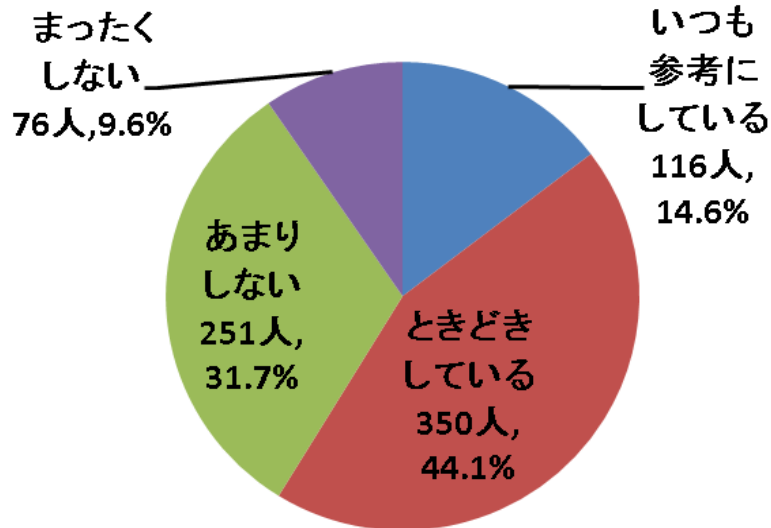


家族と一緒に食事をする機会について回答していただいた方760人のうち、「ほとんど毎日」と回答された方が、455人（59.9%）で、「週に8~10回程度」と回答された方84人（11.1%）を合わせると539人（70.9%）とほぼ7割を占めました。H28年度のe-モニターアンケートでは「ほとんど毎日」「週に8~10回程度」と回答された方は69.9%であり、家族と一緒に食事をする人の割合が増えました。

Q4 栄養成分表示について

栄養成分表示が平成27年4月から義務化（経過措置期間は平成32年3月31日まで）となりましたが、あなたは、ふだん食品を購入する時に、栄養成分の表示を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※栄養成分表示とは、食品などに含まれるエネルギーやたんぱく質、脂質、炭水化物、塩分などの栄養成分量を、パッケージやメニューなどに表示したもの。

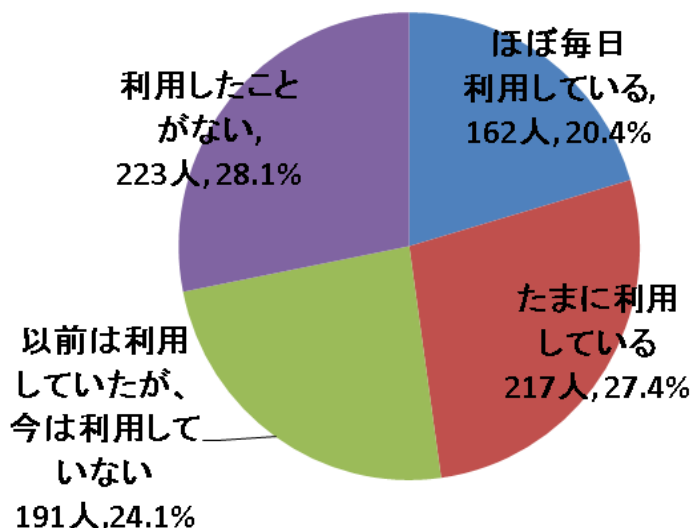


食品を購入する時に栄養成分表示を参考にしているかについて聞いた結果、「いつも参考にしている」と回答された方が116人（14.6%）でした。「ときどきしている」と回答された方350人（44.1%）を合わせると、466人（58.8%）と、半数以上の方が栄養成分表示を参考にしていました。H28年度のe-モニターアンケートでは、「いつも参考にしている」「ときどきしている」と回答された方は53.8%であり、食品を購入するときに、栄養成分表示を参考にする人の割合が増えました。

Q5 健康食品（サプリメント等）の利用について 1

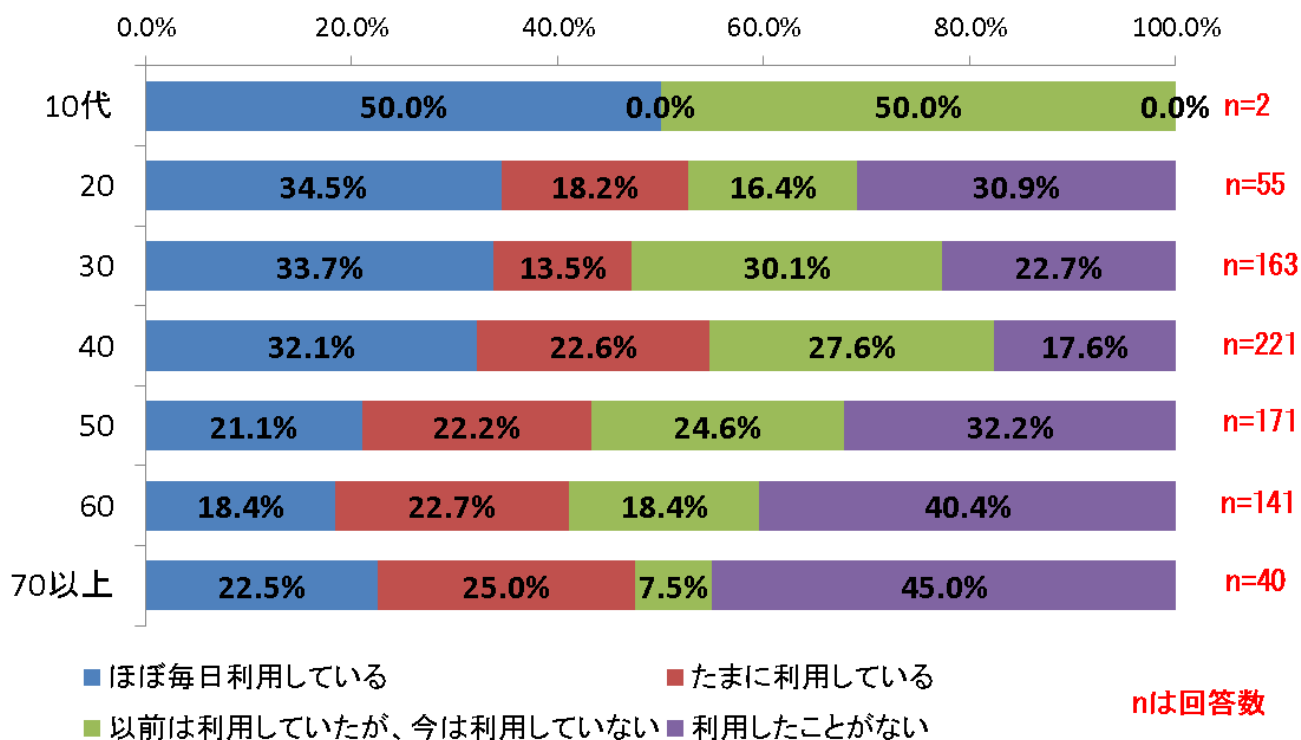
あなたは、健康食品（サプリメント等）を利用したことがありますか。

※健康食品とは、法律上の定義はなく、一般に、健康の保持増進効果があるとして販売・利用されている食品の総称をいう。特定保健用食品（トクホ）や機能性表示食品なども含まれる。



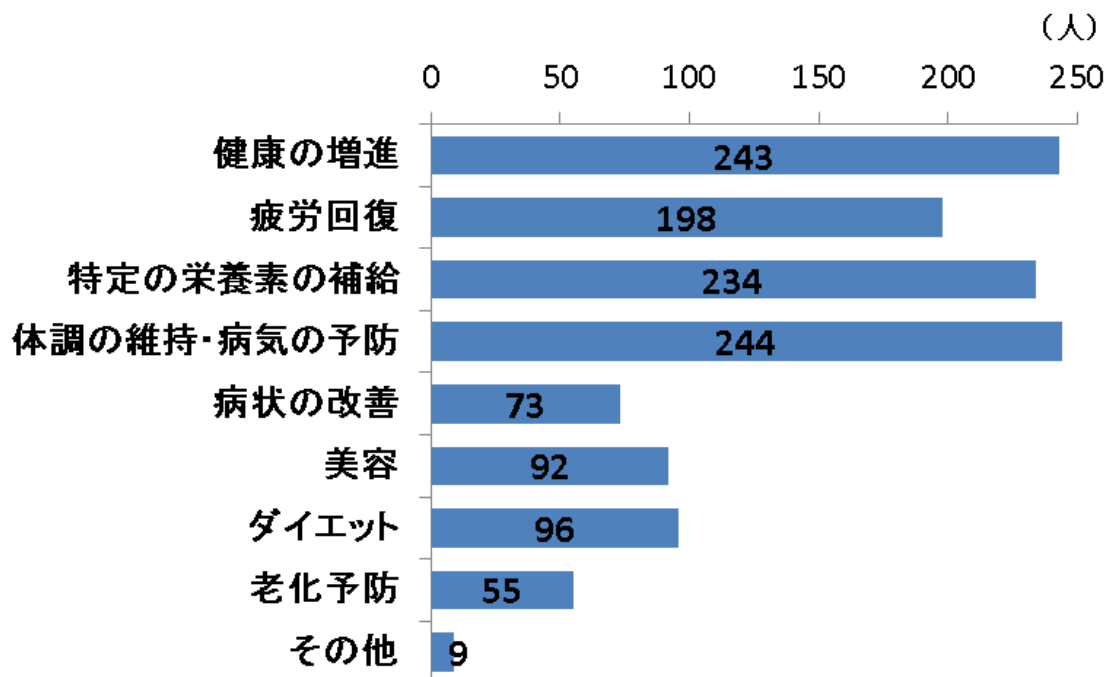
健康食品（サプリメント等）の利用について聞いた結果、「利用したことがない」「以前は利用していたが、今は利用していない」と回答された方が414人（52.2%）で、「ほぼ毎日利用している」「たまに利用している」と回答された方は379人（47.8%）でした。

年代別にみてみたところ、以下のような結果になりました。20～40代で約3分の1の方が、健康食品（サプリメント等）をほぼ毎日利用していました。



Q6 健康食品（サプリメント等）の利用について 2

Q5で「ほぼ毎日利用している」「たまに利用している」「以前は利用していたが、今は利用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたが健康食品を利用する（していた）目的は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



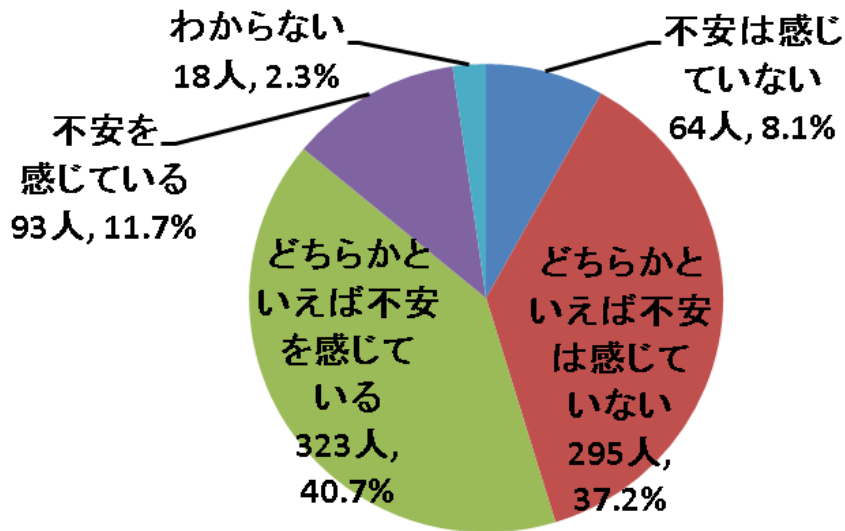
「健康食品（サプリメント等）の利用について 1」において、「ほぼ毎日利用している」「たまに利用している」「以前は利用していたが、今は利用していない」と回答された方570人のうち、利用の目的で一番多かったものが、「体調の維持・病気の予防」で244人（42.8%）でした。その次に「健康の増進」のために利用していたと回答された方がほぼ同数の243人（42.6%）、「特定の栄養素の補給」で234人（41.1%）と続きました。

「その他」の回答としては、以下のようなものがありました。

- ・アレルギー改善
- ・便秘解消
- ・妊活
- ・妊活のため
- ・興味があって 良かれと思って
- ・興味

Q7 食品の安全性について

あなたは、食品の安全性について、ふだんどう感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

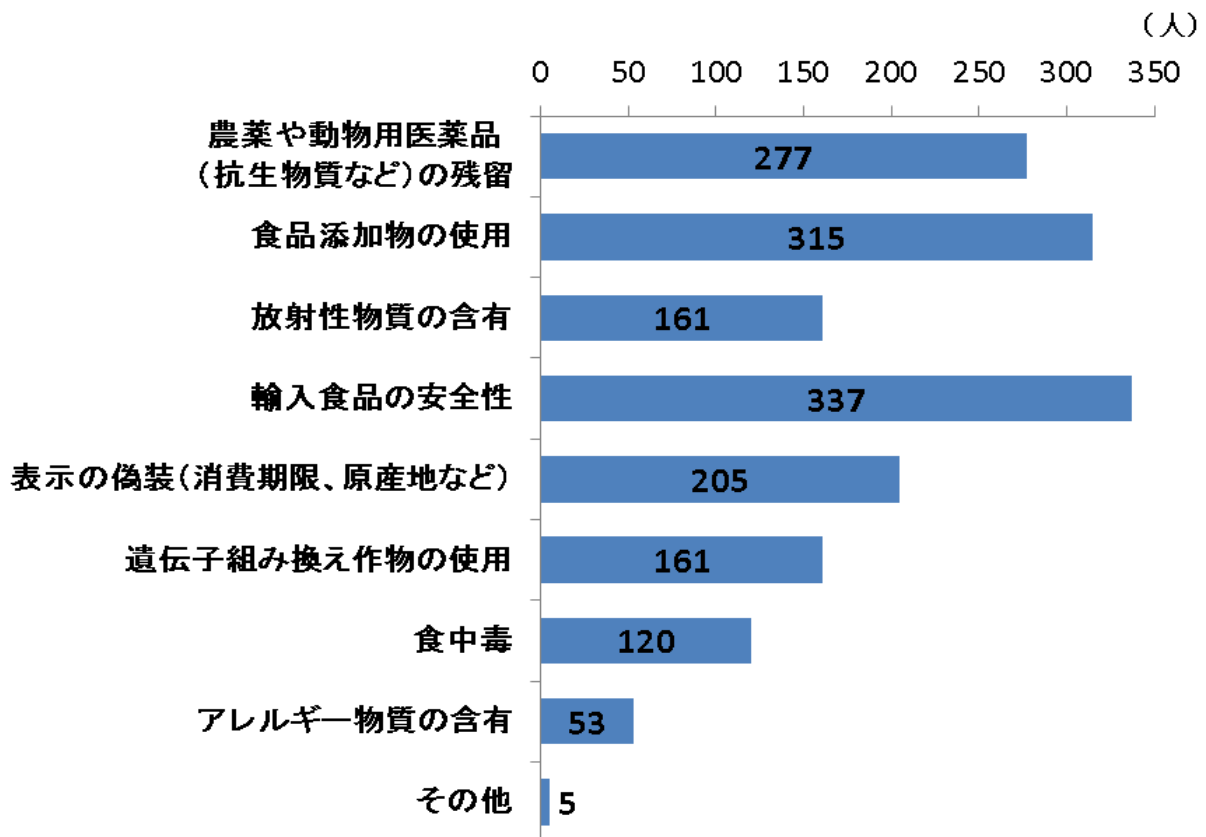


食品の安全性について聞いた結果、「不安を感じている」「どちらかといえば不安を感じている」と回答された方が416人(52.5%)、「不安は感じていない」「どちらかといえば不安は感じていない」と回答された方が359人(45.3%)でした。

H28年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「不安を感じている」「どちらかといえば不安を感じている」人の割合は減り(H28年度は55.9%)、「不安は感じていない」「どちらかといえば不安は感じていない」人の割合が増えました(H28年度は42.4%)。

Q8 不安を感じる理由について

Q7で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたは、食品の安全性について、どのような不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



食品の安全性について、「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と回答された方416人に、どのような不安かについて聞いた結果、一番多かったのが「輸入食品の安全性」と回答された方が337人(81.0%)、その次に「食品添加物の使用」と回答された方が315人(75.7%)、「農薬や動物性医薬品(抗生物質など)の残留」と回答された方が227人(66.6%)と続きました。

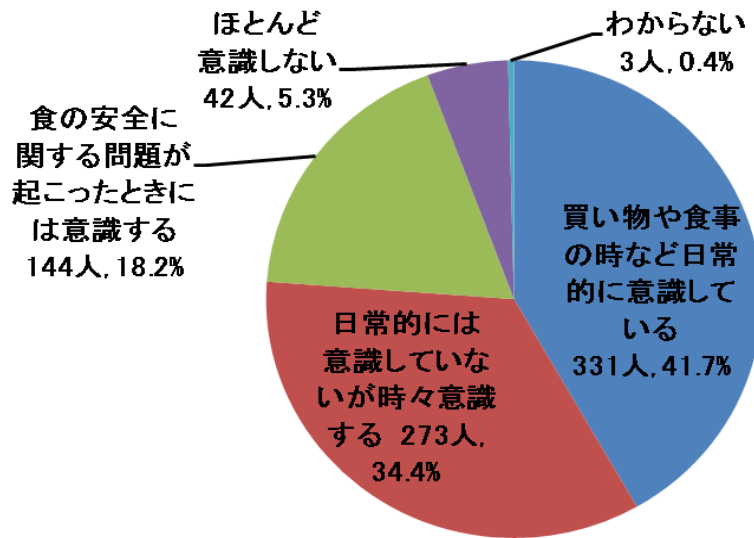
H28年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「輸入食品の安全性」(H28年度は80.3%)「食品添加物の使用」(H28年度は75.0%)「農薬や動物性医薬品(抗生物質など)の残留」(H28年度は63.9%)と回答された方が、引き続き今年度も上位を占めました。

「その他」の回答では、以下のような意見がありました。

- ・ 非表示(キャリーオーバーや、たとえば5%未満の遺伝子組み換え原料は「不使用」になるとか。)製造場所が2か所以上だったら販売者のみ表示で固有番号で許されるとか、大手メーカーのための抜け道が多すぎて信用できない。
- ・ 加工前の産地。
- ・ 特に海外製造の場合の衛生面。
- ・ 表示義務の無い添加物、無添加、何を無添加なのか?添加物全てが無添加でないことが多い。(注)原文のまま)
- ・ 飲食店での外食料理。

Q9 食の安全に関する意識について

あなたは、どのような時に食の安全について意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

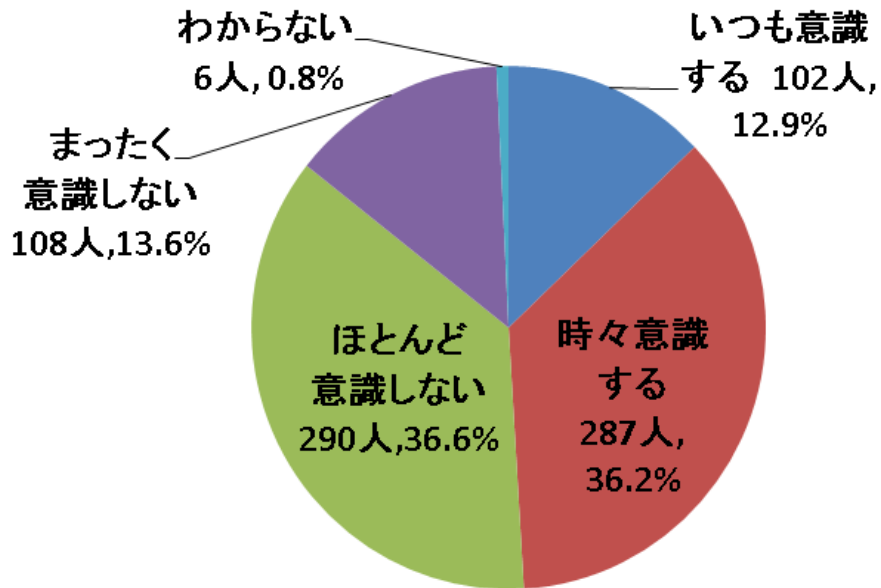


食の安全を意識するのはどのような時かについて聞いた結果、「買い物や食事の時など日常的に意識している」と回答された方が331人（41.7%）、「日常時には意識していないが時々意識する」と回答された方が273人（34.4%）、でした。

H28年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「買い物や食事の時など日常的に意識している」（H28年度は37.0%）人の割合が増え、「日常時には意識していないが時々意識する」（H28年度は37.6%）人の割合が減りました。

Q10 外食や弁当などで食べる米の産地について

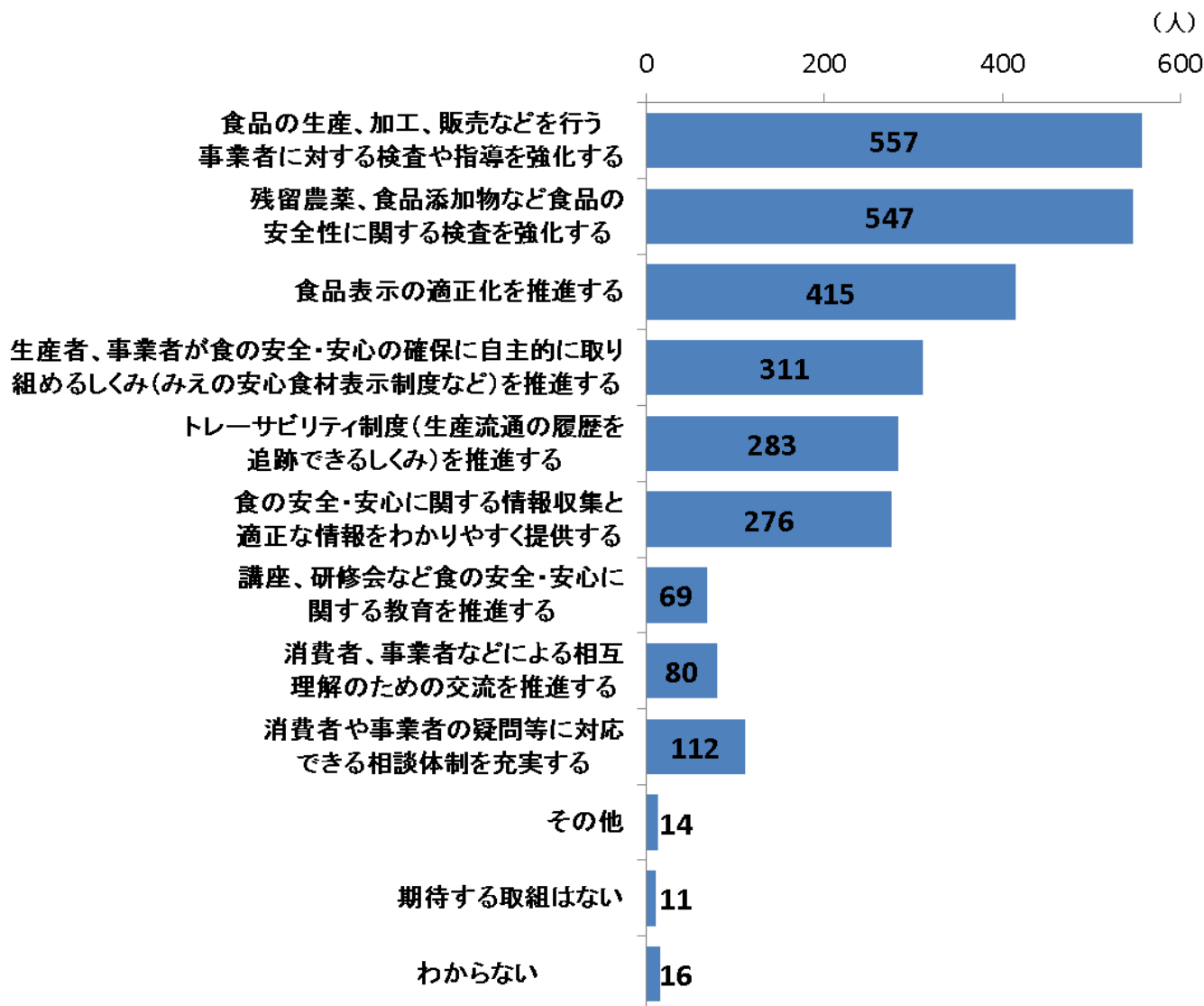
あなたは、外食をする時や、弁当などの米を使った食品を買う時などに、使用されている米の産地について意識することはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



外食をする時や、弁当などの米を使った食品を買う時などに、使用されている米の産地について意識することはあるかどうか聞いた結果、「いつも意識する」「時々意識する」と回答された方は、389人（49.1%）であったのに比べ、「まったく意識しない」「ほとんど意識しない」と回答された方が、398人（50.2%）とわずかに上回っていました。

Q11 食の安全・安心のために行政（国、県、市）に期待する取組について

あなたが食品の安全・安心を得るために、行政に期待する取組はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。



食の安全・安心のために行政に期待する取組について聞いた結果、一番多かったのが「食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する」で557人(70.2%)、その次に「残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する」で547人(69.0%)、「食品表示の適正化を推進する」と回答された方が415人(52.3%)と続きました。

H28年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する」(H28年度は73.5%)、「食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する」(H28年度は72.8%)「食品表示の適正化を推進する」(H28年度は58.6%)の回答が今年度も上位を占めました。

「その他」の回答では、以下のような意見がありました。

- ・ 三重県独自の安心安全基準を作り、国産品から輸入品も調査していただき、検査に合格したもののだけにそのマージンをつけてほしい。
- ・ 大手メーカーに有利な特例や抜け道や法律が多くて、小規模生産者が不利。その大手メー

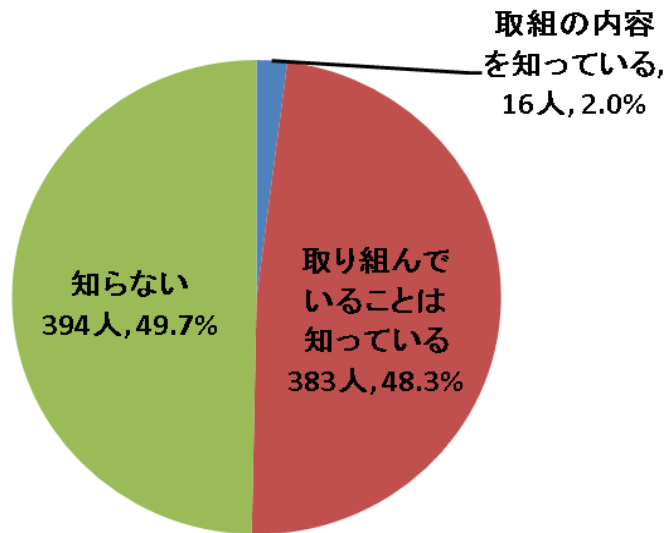
カーの利用している部分が不安なので法律自体を見直すべき。

- ・ 事業者の意識向上。
- ・ 製造元の様子がはっきりわからない輸入食品の規制。
- ・ 生産者直売の安全指導。
- ・ 大規模化を進め、安定した品質管理を奨励する。
- ・ 農薬使用量、認可添加物の多さが際立つのが日本なので、検査強化以前に認可そのものの基準を高めるべき。
- ・ 色々な規格や制度、法律に違反していないか、抜き打ちで検査に入る。あらかじめ知らせでは効果が薄い。
- ・ 添加物は全て明記（分量も欲しい）、消費者の意識が低いと安い商品を買うので意味がないと思う。皆が意識すれば良い商品が買いやすい値段になるのでは？と思う。良くない物を食べて病気になって医療費を使うより予防をして元気に働いて過ごす事を目指したい。栄養成分をサプリなどで過剰にとるより毒を体内にためない方が健康に生きられると思う。解毒できる健康な身体を持ちつつ毒を極力とらない生活をめざす講習会等をして欲しい。消費者が変わらない限り良い商品が買いやすい値段にならないと思う。
- ・ 国産品を増やす。
- ・ 放射性物質含有量の基準値を、他国と同レベルにして基準値を厳しくする。
- ・ 安全に配慮するあまり食べ物を無駄にするような事がないようにしてほしい。
- ・ 消費者アンケートをすることにより認識が高まり、対策・取り組みも見えてくるのではないかな。
- ・ 遺伝子組み換え作物やポストハーベスト農薬使用小麦が原材料に含まれている場合はその旨表示されるようにする。

Q12 食の安全・安心確保のための行政（国、県、市）の取組について

あなたは、食の安全・安心確保のために、現在行政が取り組んでいる具体的な取組をどの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※具体的な取組内容は、Q11の選択肢を参考にしてください。

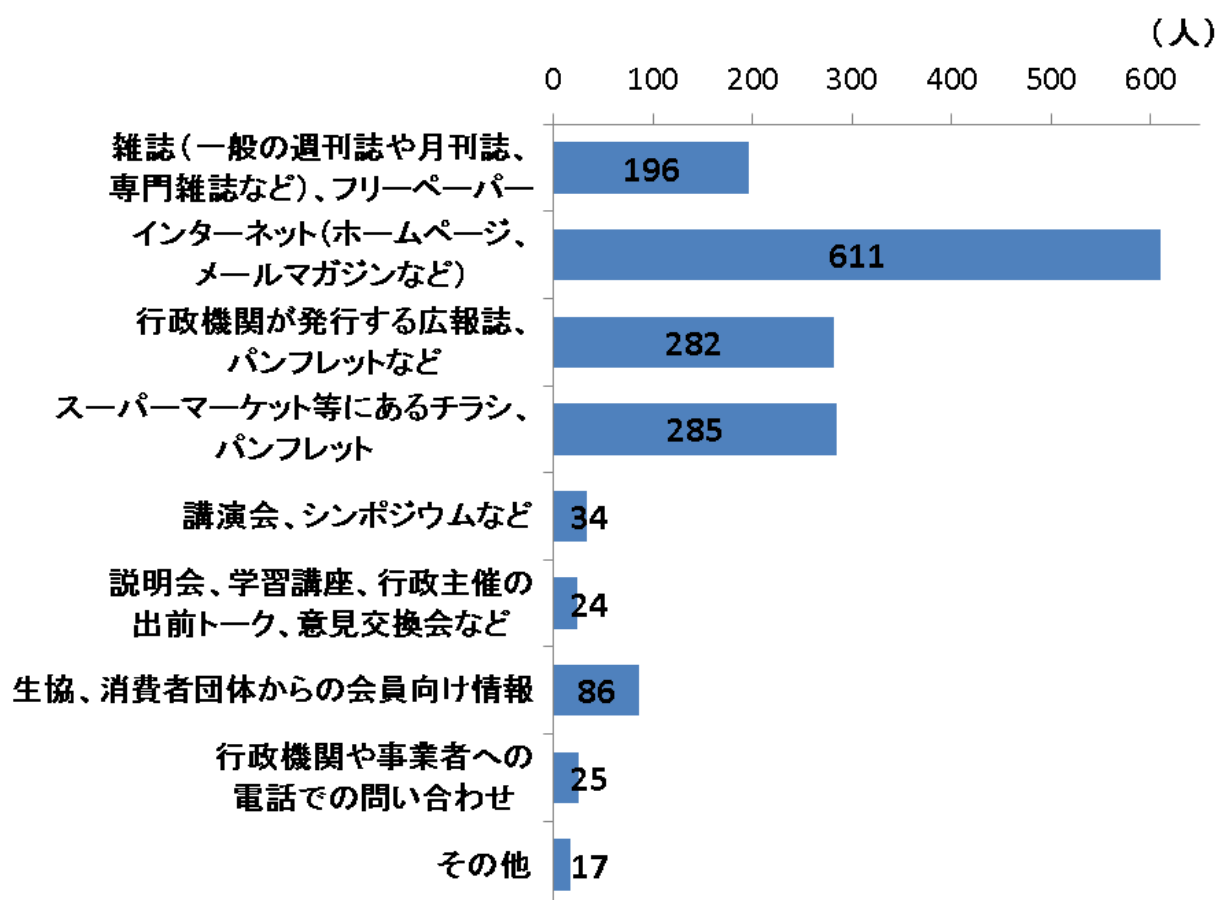


食の安全・安心確保のための行政の取組について聞いた結果、「取組の内容を知っている」「取り組んでいることは知っている」と回答された方が399人（50.3%）でした。「知らない」と回答された方394人（49.7%）に比べると少しだけですが上回りました。

H28年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「取組の内容を知っている」「取り組んでいることは知っている」（H28年度は49.9%）人の割合が増え、「知らない」（H28年度は50.1%）人の割合が減りました。

Q13 食の安全・安心に関する情報を得る手段について

あなたは、食の安全・安心に関する情報を知りたいと思った時、テレビ、ラジオ、新聞以外では、どのような方法で情報を得ようと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



テレビ、ラジオ、新聞以外での食の安全・安心に関する情報を知る方法について聞いた結果、一番多かったのが「インターネット(ホームページ、メールマガジンなど)」が611人(77.0%)、その次に「スーパーマーケット等にあるチラシ、パンフレットなど」が285人(35.9%)、「行政機関が発行する広報誌、パンフレットなど」が282人(35.6%)と続き、回答の上位を占めました。

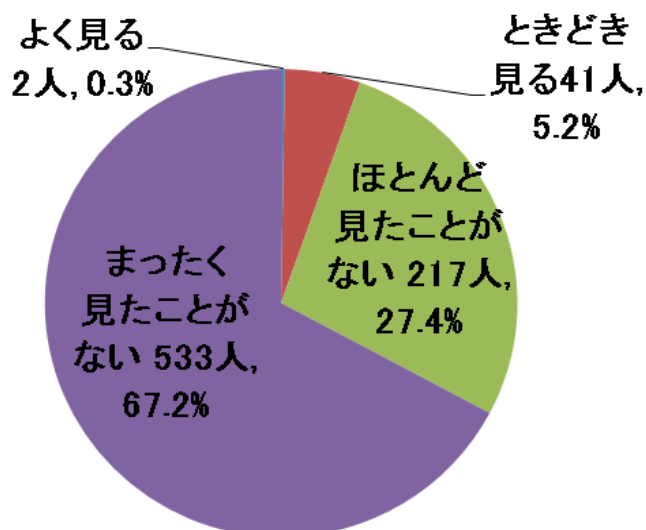
「その他」の回答では、以下のような意見がありました。

テレビ(2名) / 積極的に情報収集していない / 友人 / そのテーマの本
その行為をしない / 書籍 / SNS / 専門書 / 本
農業、畜産業従事者から直接話を聞く / 組合より / 具体的に何があるか思い当たらない
食(加工食品を含む)に関する適正な表示(判断)ルールの策案と数値化した安全性の表示
メーカーに問い合わせる / 衛生関連の専門書

Q14 三重県のホームページ「食の安全・安心ひろば」について 1

三重県では、「食の安全・安心ひろば」というホームページにおいて、食の安全・安心に関する情報や、県及び事業者の取組などを掲載しています。あなたは、「食の安全・安心ひろば」を見たことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(参考) 食の安全・安心ひろば <http://www.pref.mie.lg.jp/shokua/hp/>



「食の安全・安心ひろば」を見たことがあるかどうか聞いた結果、「まったく見たことがない」が533人(67.2%)、「ほとんど見たことがない」が217人(27.4%)でした。

三重県のホームページ「食の安全・安心ひろば」は

- ・食に関する新着情報
- ・生活に役立つ知識
- ・三重県の「食の安全・安心を確保するための取組」
- ・食の安全・安心確保に取り組む事業者の方たちの紹介・キッズページ

など、盛りだくさんです。ぜひ、見てみてください。



三重県食の安全・安心キャラクター
「ココロ」(左)と「まもる」(右)

三重県食の安全・安心ひろばは、

三重県 食の安全・安心ひろば

もしくは
こちらから



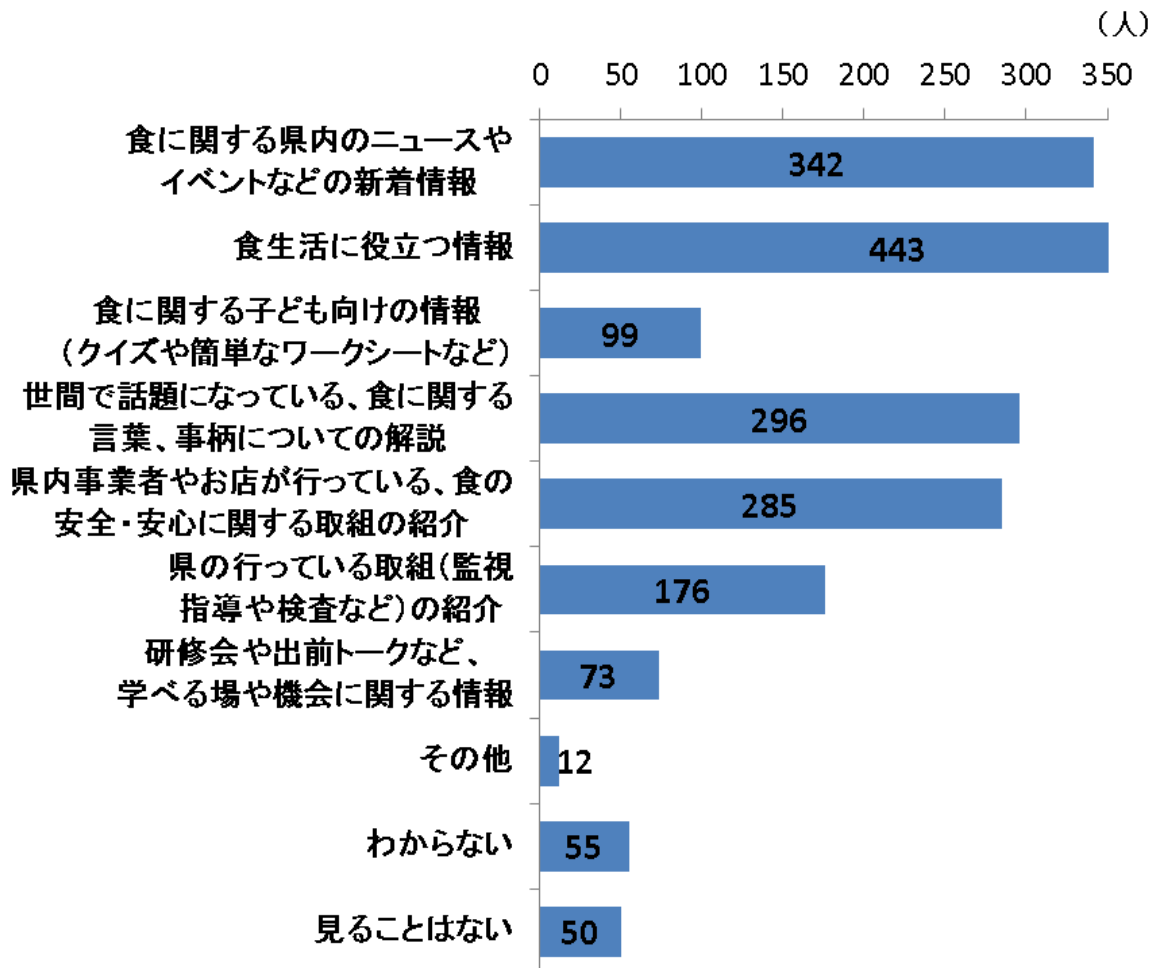
Facebookもやってます!



Q15 三重県のホームページ「食の安全・安心ひろば」について 2

あなたは、県のホームページ「食の安全・安心ひろば」に、どんな記事が掲載されていれば見てみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※Q14の、設問中の説明及び「(参考) 食の安全・安心ひろば」を参考にしてください。



県のホームページ「食の安全・安心ひろば」に、どんな記事が掲載されていれば見てみたいと思うかと聞いた結果、一番多かったのが「食生活に役立つ情報」が443人(55.9%)、その次に「食に関する県内のニュースやイベントなどの新着情報」が342人(43.1%)、「世間で話題になっている、食に関する言葉、事柄についての解説」が296人(37.3%)と続きました。

「その他」の回答では、以下のような意見がありました。

- ・健康になる情報。
- ・WEBメールを送る。
- ・このホームページがあることを知らなかった。
- ・地産地消のレシピ。
- ・安心安全で美味しい食材やそうした飲食店の紹介。
- ・検索で上位にできれば見ると思う。
- ・プレゼント方式のアンケートなどがあれば、閲覧のキッカケになると思われる。

- ・上記項目のWEBでの公開。
- ・食の安全が保証されない物の商品名、製造者と安全が保証されない理由の一覧。
- ・表示されていない部分についての追求の仕方。
- ・子どもと一緒に参加できるもの、食関連のコミュニティで繋がれるようなもの。

これらの回答を元にして、ホームページ「三重県食の安全・安心ひろば」の掲載項目、内容、ページなどを見直し、改良していきたいと思います。

(注) グラフ上の割合は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。